

## 令和2年度静岡市協働パイロット事業 企画提案書

団体名：特定非営利活動法人まちなびや

## 1 事業のタイトル

子どもとつくる「草薙まちのおしごと図鑑」

## 2 事業の概要 (市民ニーズや協働で取り組む意義を踏まえて記載してください。)

草薙駅周辺地区は、平成26年からの南北自由通路の整備や市街地再開発事業を契機に、周辺商業者・商店会等と連携した「夏フェス・冬フェス」の実施やイルミネーションなど各種イベントを実施など、地元の人々からのまちの魅力向上のニーズが高まっている。現在は、一般社団法人草薙カルテッドがそのまちづくりの先導を担っている。

今回の事業は「子どもから高齢者までのすべての世代がまちの活性化に資する活動に参加できる仕組み取り組みを実施し、地域への愛着度を向上する」ことを目的とし、子どもへのキャリア教育を通して静岡の仕事の魅力について発信している当団体が、静岡市・一般社団法人草薙カルテッドと協働して下記二点を実施する。

## ①コドモンデ「まるごと草薙特集号」を作成

当団体が発行するしずおかまちのお仕事図鑑コドモンデの「まるごと草薙特集号」として、草薙のまちづくりを担う一般社団法人草薙カルテッドの取り組みを取り上げる。さらに、後述する②の活動で子どもが作成したお仕事図鑑も掲載し、静岡市内小・中学校はじめ市内各所に2万部配布する。

## ②子どもが取材するおしごと図鑑作成

小学生が草薙の商店街の魅力を知り・発信するため夏休み企画として「草薙まちのお仕事図鑑」プロジェクトを実施。子どもが草薙商店会のお店や地域の会社で働く人に取材し、その内容を記事にする。作成した記事は①に掲載するほか、ポスターとしてデザイン・印刷し、取材をした店舗へ掲示する。

取材については、コドモンデ作成チームの写真家やライターが写真撮影の仕方や取材の仕方等レクチャーを担当し、スキルをしっかりと学んだ上で店舗や会社に出向く。

## 【新型コロナ・ウイルス対策】

新型コロナ・ウイルスの感染状況によっては、下記の方法への変更も検討している。

## ①に関する対策方法：

コドモンデ表紙写真の撮影方法を変更。一人ひとり仕事の様子の写真を撮って組み合わせる。

## ②に関する対策方法：

ソーシャルディスタンスを意識し、参加者を少人数にして実施。

または、タブレットを使って商店街の人と遠隔で取材を行う。

3 協働して事業を行う際、貴団体の担う役割と静岡市に担って欲しい役割

■NPO 法人まちなびやの役割

①コドモンデで「まるごと草薙特集号」を作成

- ・関係先取材・撮影、原稿作成
- ・コドモンデ印刷・静岡市内小・中学校に配布

②子どもが草薙商店会のお店や地域の会社を取材し、「草薙まちのお仕事図鑑」を作成するプロジェクトを実施

- ・対象になる会社やお店との事前調整
- ・プログラム開発
- ・ワークシート・フォーマット作成、印刷
- ・プロジェクトの広報
- ・講師との連絡調整
- ・完成物の印刷・展示用おしごと図鑑のお届け
- ・拡大版の作成・印刷

■静岡市

- ・草薙カルテッド、草薙商店会、地域の関係団体・会社等の紹介・連絡
- ・②「草薙まちのお仕事図鑑」プロジェクトの広報協力
- ・②「草薙まちのお仕事図鑑」プロジェクト応募受付・参加者との連絡調整
- ・【新型コロナ・ウイルス対策】マスク・消毒液など、感染拡大防止の準備

#### 4 事業計画・実施スケジュール

- 5月～ 静岡市・一般社団法人草薙カルテッドと打ち合わせ。※月1～2回（適宜実施）  
協力先候補リストアップ、連絡調整。お仕事図鑑プロジェクト、内容検討。
- 6月～ 草薙お仕事図鑑プロジェクト広報準備
- 7月 草薙お仕事図鑑プロジェクト募集チラシ配布・募集
- 8月 草薙お仕事図鑑プロジェクト実施、各店・会社に掲示
- 9月 コドモンデ作成打合せ
- 10～ コドモンデ表紙撮影・取材・編集・印刷
- 11月
- 12月 コドモンデ配布
- 1月 協力先アンケート
- 2～ 報告書作成・次年度協議
- 3月

## 5 実施体制及び主要スタッフの経歴

### ■実施体制

NPO 法人まちなびやが静岡市に調整いただいた一般社団法人草薙カルテッドや草薙商店会の協力を仰ぎながら、草薙まちのお仕事図鑑やコドモンデの作成に取り組む。

### ■主要スタッフ

- ・弓削幸恵 (NPO 法人まちなびや 理事長)

2015年9月の任意団体から2012年NPO法人まちなびや立ち上げ後の現在まで、静岡市を中心に「子どもと地域をつなぐ」をテーマに活動している。近年の主な事業は、オクシズ森林の教室（静岡市委託事業）、コドモンデに登場したシゴト人と学校をつなぐ各種キャリア教育授業、静岡まちのお仕事図鑑「コドモンデ」の発行・配布、子どもがつくるまちのお仕事図鑑「コ・コドモンデ」作成プロジェクト、そしてこども店長による「こども10円商店街」など。「コドモンデ」は毎回20,000～30,000部発行。

- ・杉山雅彦 (写真スタジオ「フォトスタジオ ピース」代表)

1972年生まれ。静岡出身・在住の写真家。企業広告などを目的とした、ほぼ合成なしの劇的集合写真<sup>※</sup>「ジャパニメーションフォト」でメディアの注目を集めている。2011年よりコドモンデ全号の表紙を撮影している。NHKと日本テレビで全国と世界に放映。2018年にニコンサロン銀座&大阪で写真展。

2019年に初の写真集「ニッポンのはたらく人たち」がパイインターナショナルから発売。

東京・大阪・九州など県外からの撮影のオファーが多く「はたらく人たち」をテーマに、全国で活躍中。

### ■草薙カルテッド 協力団体

- ・共同代表 山本洋平

草薙商店会の会長として2020年3月末まで7年間、草薙商店会の発展に尽力してきた。静岡商工会議所青年部の理事。2020年より大学共創委員会の委員長。

※新型コロナ・ウイルスの状況により、変更の可能性があります。

6 特にアピールしたいこと（専門性、独自性、先駆性、実績、2年間継続することの効果など）

**【専門性・実績】** キャリア教育を通して地域を活性化

「コドモンデ」を通じて、草薙の魅力を市内小・中学生やその保護者へ周知できる

NPO 法人まちなびやでは、「静岡まちのおしごと図鑑」として、静岡市で働く大人を紹介するコドモンデを2011年より43号発行してきた。これは大人が作成するおしごと図鑑だったので、子どもの参画によるオシゴト図鑑作成を企画、2014年度に『子どもプレス「はじめてのお仕事図鑑」&おしごとカタログ』を実施した。

参加した子どもの総数は150人、大人は50人ほど、清水駅前銀座商店街や静岡市内企業の協力で16の職種を紹介する20ページの冊子を14000部発行した。2015年度以降は夏休み企画や学校の出張授業として実施、参加数は5小学校1中学校710人、2016年度4小2中800人、2017年度3小5中1040人、2018年度3小4中730人、2019年度2小4中610人、6年間の総計は4040人に上る。各校の優秀作品をコドモンデHPで表彰しており、そちらの紹介数も200人にのぼる。児童生徒が地域の大人と関わることで、子どもにとって学びがいがあることはもちろん、取材された大人も子どもから学ぶこと多かった。また保護者への周知はもちろん、お店などではコ・コドモンデが掲示されるなど、関係者以外の第三者にも様子が紹介され、まちの活性化に寄与した。

**【独自性・先駆性】** 子どもが地域の魅力として、そこで働く人々の仕事について学び発信する機会  
本事業での独自性・先駆性として、2つ挙げられる。

一つは、「草薙まちのお仕事図鑑」の小学生向け夏休み企画の内容である。これは、当団体が小学校で出張授業を実施している「コ・コドモンデ」の内容をふまえており、取材から記事の作成を通して、参加した子どもたちは草薙の魅力だけではなく、そこで働く人々の仕事についても学ぶといった、これまで学校では体験できない学習機会を持つことができる。また一方で、取材を受けた大人にとっても、自分の仕事を改めて見つめなおす機会になったり、子どもの育ちを応援したりすることにつながる事が考えられる。

もう一つは、作成した記事をポスターにして、取材を受けたお店や会社に掲示することである。取材の内容をまとめやすいフォーマットを用意してあるため、子どもでも作成しやすく、見応えのある完成作品に仕上げることができる。子どもの作った草薙のまちのお仕事図鑑を会社やお店で掲示することで、道行く人たちへの人目を惹き、地域の話が増え、まちに関心を持つ人が増えていく。新しい年度にさらに新しい店舗に取材し作品数が増えることでさらに話題が広がり、知らなかった街を身近に感じられるようになることが考えられる。

**【2年間継続することの意義】** 子どもが作成したポスターの増加による、地域の話が増えること

継続することの意義としては、前述した「草薙まちのお仕事図鑑」から作成したポスターの増加による地域の話が増えることが挙げられる。

新しい年度にさらに新しい店舗に取材し作品数が増えることでさらに話題が広がり、知らなかった街を身近に感じられるようになることが考えられる。

今回発行するコードモンデ「まるごと草薙特集号」は、完成後は静岡市内小・中学校はじめ市内各所に2万部配布する予定なので、そのことをきっかけに草薙に足を運ぶ人が増え、さらなる活性化につながる。